

# 下水道ネットワークシステムの効果

これからの下水道には、災害時にも稼働できることを前提に、老朽化施設の計画的な改築更新、自然と共生した快適な水環境の創造が求められています。

下水道ネットワークシステムの完成により、こうした目標に向けた効果的な改善を進めていくことが可能となります。

## 災害に強い 下水道

ネットワーク幹線は、災害に強い下水道を目指し計画されました。ネットワークシステムを利用すれば、地震等の災害時にも汚水が処理できるため、水質の保全が期待できます。

## 円滑な 改築・更新

神戸市では、今後、大規模な下水処理場の改築・更新の時期を迎えます。ネットワークシステムの完成により、改修工事中も他の下水処理場に汚水を送ることができるため、円滑な改築・更新が容易になります。

## 都市の変化への 柔軟な対応

都市や生活習慣の変化による汚水量の増減が想定されます。ネットワークシステムは、汚水量の増減に対する下水道管さよや下水処理能力の過不足の解消・均衡化を期待できます。



ポートアイランド中央緑地

## 高度処理への 円滑な移行

海、川などをきれいにするために、下水処理水を今以上に水質浄化する必要があります。ネットワークシステムを有効に活用し、下水処理場の高度処理化を進めます。



兵庫区松本地区のせせらぎ(鈴蘭台高度処理水を送水)

## 処理場 流入汚水の 時間変動の 緩和

ネットワーク幹線の貯留機能や他の下水処理場への送水機能により汚水流入の時間変動の緩和が可能となり、下水処理場の施設運転の均衡化が期待できます。

## 情報集中 管理システム の支援

ネットワーク幹線内に光ファイバーを設置することにより、リアルタイムな情報管理が可能となり、下水道管理の効率化・高度化が期待できます。



西部処理場中央監視室